

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月3日 (2008.4.3)

【公表番号】特表2008-501795(P2008-501795A)

【公表日】平成20年1月24日 (2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-527196(P2007-527196)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/12 (2006.01)

A 6 1 K 35/48 (2006.01)

A 6 1 K 35/30 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 35/48

A 6 1 K 35/30

A 6 1 P 9/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月15日 (2008.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

出生後ヒト被験者に由来する生殖細胞系幹細胞培養物を製造する方法であって、該方法は：

出生後被験者から生殖細胞サンプルを採取する工程、
前記生殖細胞サンプルから c - k i t ネガティブ且つ α インテグリンポジティブである細胞を単離する工程、

単離された c - k i t ネガティブ且つ α インテグリンポジティブの細胞を、5 - アザ - 2 ' - デオキシシチジン、ヒストンデアセチラーゼインヒビター、n - 酪酸、トリコスタチン A、細胞全体抽出物、細胞質体抽出物および核質抽出物からなる群から選択される刺激因子を含有する培地で、生育および増殖に有効な条件下で培養することにより、生殖細胞系幹細胞培養物を製造する工程

を包含し、

該生殖細胞系幹細胞培養物は自己再生およびさらに分化決定された細胞系列へと分化する能力を有する、前記方法。

【請求項 2】

幹細胞培養物中の単離された c - k i t ネガティブ且つ α インテグリンポジティブの細胞が、O c t - 4 および R E X 1 からなる群から選択される少なくとも一つの多能性幹細胞マーカーをさらに発現する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記培養工程が、前記単離された c - k i t ネガティブ且つ α インテグリンポジティブの細胞を、該単離された c - k i t ネガティブ且つ α インテグリンポジティブの細胞の発達と前記多能性幹細胞マーカーの発現を誘導する刺激因子を含有する培地と接触させる工程を包含する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記生殖細胞が精巢細胞または卵巢細胞である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記細胞全体抽出物、細胞質体抽出物または核質抽出物が、胚性幹細胞、胎児性幹細胞、成体多能性前駆細胞および始原性細胞からなる群から選択される幹細胞から単離される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法に従って作製された幹細胞培養物。

【請求項 7】

単離された、実質的に純粋な、幹細胞の培養物であって、該培養物は：少なくとも一つの多能性幹細胞マーカーを発現する c - k i t ネガティブ且つ₆ インテグリンポジティブの細胞を含み、該幹細胞培養物は自己再生およびさらに分化決定された細胞系列へ分化する能力を有する、前記培養物。